



主催： 日本発達心理学会

共催： (公財)発達科学研究教育センター (CODER) ・ 日本臨床発達心理士会 ・

大阪大学キャンパスライフ健康支援センター ・ 大阪大学男女協働推進センター

# Prof. Stephen Russell

## 公開講演会

2017年 11月 4日(土)

9:00 ~ 12:00

# アメリカにおける LGBTの若者といじめ： 安全で支えのある学校の創造

LGBT youth and bullying in the United States:  
Strategies to create safe and supportive schools

会場： 大阪大学中之島センター (大阪市北区)  
佐治敬三メモリアルホール

定員： 170名(事前申し込み制・先着順)  
ワークショップ参加者も公開講演会の参加申込が別途必要です。

参加費： 無料

資格更新ポイント： 臨床発達心理士、学校心理士、臨床心理士  
(いずれか1つ)

申込方法： 申込フォーム(URLまたはQRコードから)  
<https://goo.gl/o1Gczx>



スティーヴン・ラッセル先生からアメリカの学校でのいじめ問題とLGBTの関連についての調査結果等をもとに、安全で支えのある学校のあり方をいかに創造するのかをうかがいます。

ラッセル先生は、様々な学術賞を受賞し、Society for Research on Adolescenceの会長もつとめました。いくつかの観点でマイノリティである“multiple minority status”の研究などを行っています。

### 《 公開講演・国際ワークショップ共通事項 》

講師： Prof. Stephen Russell (テキサス大学)  
※講義は英語で行われます。  
講演会は通訳、ワークショップは抄訳がつきます。

担当者： 戸田有一 (大阪教育大学教授)  
葛西真記子 (鳴門教育大学教授)

申込締切： 2017年10月10日(火)  
(公開講演会、ワークショップとも)

※詳細は日本発達心理学会ウェブサイト内「ワークショップ・シンポジウム」の「2017年度国際ワークショップと公開講演会のご案内」をご覧ください。

### 《 国際ワークショップ 》

多重マイノリティということと、マイノリティ間のコンフリクト／共感：  
様々なマイノリティ間のよりよい協働をめざして

Multiple minority status and inter-minority conflicts/empathy: How can we design better collaboration among various minorities?

会場： 大阪大学中之島センターおよび近隣会場  
日程： 2017年11月3日(金)～5日(日)  
定員： 30名(事前申込制, 申込・払込完了順)  
参加費： 一般会員 1万8千円, 学生会員 1万円  
非会員 2万円, 非会員学生 1万2千円  
(交通費・宿泊費は含みません)

資格更新ポイント： 臨床発達心理士、学校心理士、臨床心理士  
※3日間の参加で、いずれか1つのポイント取得が可能です

申込方法： 申込フォーム(URLまたはQRコードから)  
<https://goo.gl/bpRZVa>

懇親会： 2日目夜に懇親会を開催します  
(懇親会費が別途必要です)

